

ウイルス性結膜炎（はやりめ）について

病気に関連する予防医学と豆知識

‘はやりめ’という言葉聞いた事がありますでしょうか？結膜炎の中でも周囲に伝染する力が強い為、学校や幼稚園、保育園などはお休みすることになるものです。

そもそも結膜炎とは何でしょう。右図にある結膜の部分に炎症が出るものが全て結膜炎です。原因は、細菌、ウイルス、カビなどの微生物から、ほこり、ゴミ、紫外線、摩擦などの物理的な刺激、酸、アルカリ等の化学的な刺激、花粉などのアレルギー反応などによりおこります。このうちで特にウイルスによるものが‘はやりめ’です。

ウイルスとは細菌よりもさらに小さく、細胞の中に入り込み、細胞を壊していきます。ウイルスは体に入り込んでいても全てが活動して病気になるわけではありません。体の抵抗力が強ければ自分でウイルスを押さえ込むことができます。ウイルス性の結膜炎には代表的なものが3種類あります。

1. 流行性角結膜炎：潜伏期間（感染してから症状が出るまで）5日から2週間。眼脂、涙が多い、充血が強く、耳の前にあるリンパ節が腫れて、痛みを伴います。
2. 咽頭結膜熱（プール熱）：潜伏期間5から7日。充血、喉の痛み、発熱を伴い、子供に多い結膜炎です。名前のごとくプールで感染しやすいのですが、必ずしもプールとは限りません。
3. 急性出血性結膜炎：潜伏期間：1日。充血、結膜の出血、異物感が強い。

治療に関しては、ウイルスを直接殺すような薬はありません。自分で闘って治すしかありません。ですから、ウイルスに対する抵抗力をつけるために、休養を十分とって、体力を落とさないことが大切です。又、細菌感染を併発することが多く、抗生剤点眼を使用していきます。炎症を抑える為に、ステロイド点眼も使用していきます。治るまでの期間は1週間から長いと2週間以上になる場合もあります。結膜炎が治ってきたときに、角膜に障害が出る場合があります。ですから自分で治ったと思って途中で治療を中断してしまうと、その障害が残る可能性もあるので、中止しても良いといわれるまで診察と治療は継続されることが望ましいのです。

